

北海道の優良企業情報誌 [エラベル別冊]

TSR
TOKYO SHOKO RESEARCH

Alevel

2025
北海道版



東京商工リサーチが厳選

北海道で上位8%の

「優良企業」



エラベル2025
北海道版より抜粋

特集

UDトラックス道東株式会社

本の中身は
WEBで検索可能!

ウェブ版エラベル
Alevel WEB

エラベル で検索!

こちらのQRコードからもご覧いただけます。▶



東京商工リサーチ 北海道支社

東京商工リサーチが厳選する

A Levelの 優良企業とは?



お取引先の信用調査に - 企業情報の提供

私たち消費者は、コンビニやスーパーなどで商品を買うとき、クレジットカード決済を除き商品と引き換えに代金を支払います。

しかし、企業と企業の間での取引は異なります。企業の取引には、同じ会社と何度も継続的に取引をするという特徴があるので、取引のたび支払を行えば、売る方も買う方も手間がかかります。そこで、商品を先に納め、支払いは1カ月後などルールを決め、まとめて払うようにするのが一般的です。バイト代もその日払いではなく、1カ月分を銀行振込という人が多いと思いますが、それと同じです。

商品が先で支払いが後という取引では、売り手は無事に売上代金を回収できるかどうか、というリスクが存在し、このため安心して取引できる相手なのかを「知りたい」というニーズが発生します。これに応えるのが私たちTSRの行っている「企業信用調査」です。

TSRは明治25(1892)年創業の日本最古の信用調査会社です。現在全国で81カ所の事業所を構え、1,979名の従業員がいます。信用調査などを通じて収集した全国の企業データは969万社にも及び、日々蓄積を続けています。また平成6年には世界最大の企業情報サービスのリーディングカンパニーであるダンドブラッドストリート(D&B)と業務提携し、全世界240カ国超、5億6,000万社超の企業情報を提供しています。



信用調査って? 信用調査のしくみ



200を超える調査項目

沿革・経営者・役員・株主・事業目的・商品・取引先・資金情報・財務内容・今後の見通しなど

[TSR REPORT]



TSR評点とは

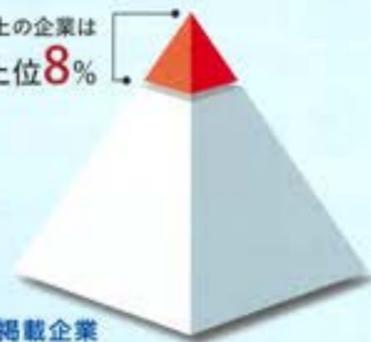
企業信用調査を通じて会社の特徴、業績、財務内容、経営理念などを取材します。これらを基に総合的に算出したのが「TSR評点」(100点満点)です。大きく「経営者能力」「企業成長性」「企業安定性」「公開性・総合世評」に分かれ、更に各々の分野で配

点が細かく設定されています。TSRでは約156万社の企業に評点を付与しています。TSRの付与する評点は企業と取引をする際に一つの基準として金融機関、商社、メーカーなど民間企業から公共機関まで幅広く利用されています。

TSR評点(100点満点)

- ✓ **経営者能力 / 20点**
資産担保余力や経営姿勢、事業経験から経営者の実力を判断
- ✓ **企業成長性 / 25点**
資産担保余力や経営姿勢、事業経験から経営者の実力を判断
- ✓ **企業安定性 / 45点**
取引先との関係性や、トラブル時の対応力などを業歴・自己資本・経済状況・金融取引・担保余力から判断
- ✓ **公開性・総合世評 / 10点**
対外的な資料公開性があるか、風評などの有無を判断

55点以上の企業は
全国上位8%



A Level掲載企業

本誌は評点55点以上の会社を掲載しています。TSRが評点を付与する企業は全国で約156万社、その中でも55点以上の企業は約12万7,000社、構成比では8%しかありません。今回、エラベルで取り上げる企業はその基準をクリアした会社ですから、「日本全国の上位8%にランクインする企業」ということとなります。

学生のみなさんへ~中小企業の魅力

TSRでは日本国内約156万社の企業データベースを提供しています。税務統計上の企業数は約330万社です。その内訳は、大企業約1万2,000社、上場企業4,075社ですから、中小企業の割合は99%と圧倒的多数を占めています。どんな大企業であっても中小企業の協力なしに製品製造やサービスの提供はできないのです。調査を通してインタビューする経営者には、注目すべき経営理念、ポリシーを持った方が多く存在します。経営者インタビューは自社の企業特性、将来性、求める人材像を中心に取材しています。優良企業ガイドはTSR評点55点以上の地元優良企業の求人情報を掲載しています。

就職すれば人生で一番長い人生を会社で過ごすこととなります。パナソニック、トヨタ自動車といった大企業も設立当初は中小企業からスタートしました。未来の大企業を自分の力で作れるチャンスも中小企業には秘められています。地場の中小企業にも優れた会社がたくさんあります。一度しかない人生で大輪の花を咲かせる会社を見つける。この本を

手に取られる学生のみなさんに中小企業の魅力が伝わることを願っています。

中小企業の魅力

若い内から重要な仕事を任される

経営者と同じ目線で仕事ができる

特定の部門に特化しないため
幅広く仕事を経験できる

自分の働きが会社の成長に直結する

地域に密着した仕事ができる

就職活動を開始した当初はどうしても大企業中心が目が行きがちですが、中小企業にも違った魅力があります。



社員と家族を本気で守る
仕事と家族を続けられる選択肢を作り



messenger

代表取締役

金尾 泰明 かなお やすあき

札幌学院大学を卒業後、数社での勤務を経て、1999年に当社の前身・日産ディーゼル道東販売(株)に入社。社名変更後の2011年5月に代表取締役に就任した。近年社風づくりのユニークな取り組みが注目され、道内で講演も行う。

company profile

所在地 〒080-2461 北海道帯広市西二十一条北1-3-12

T E L 0155-37-2271

設立 1971(昭和46)年8月

従業員数 150名

売上高 91億3,762万円(2023(令和5)年3月期)

U R L <https://recruit.ud-dotb.co.jp/>



優良企業ガイドは P.227 に掲載

**物流は5日止まると命の危険
社会的責任を果たしたい**

創業時から当社が一貫して扱っているのは、物流を支えるトラックです。UDトラックス(旧・日産ディーゼル)が製造する各種の車両販売はもちろん整備、修理までを行います。

多くの人は、普段物流について意識することは少ないと思いますが、宅配便が届くのもスーパーの棚に潤沢に商品が並ぶのも、工業製品が滞りなく製造されるのも、物流が問題なく行われているから。実は、日々の暮らしのほとんど全てに物流業者が絡んでいます。つまり、物流は人の命と直結する仕事なのです。

それを実感したのは、2011年の東日本大震災のとき。交通が遮断され物資が届かなくなることで、人々が心身ともに危機に陥っている様子を目にしました。「人は5日間、物流が止まると命に関わり生活が止まる」。恥ずかしながら私は、そのとき初めて自分のいる業界の重要性に気が付いたのです。

合言葉はトライアル

皆の気づきで日々、改善

激動の社会情勢の中で、私が目指しているのは「言いたいことが言える」「ト

リアルができる」そして「学び合いができる」会社。近年こそ、当社の風通しのよさを評価して下さる方が増え、頼まれて社風づくりについて人前で話す機会もいただくようになりましたが、私が代を引き継いだときには社内が膠着し、匿名のアンケートをとれば数々の不満が噴出するような状態でした。

その鬱陶気を打破したいと始めたのが「CS(顧客満足度)・ES(従業員満足度)事例集」。これは、社内改善につながる気づいたことを報告してもらう活動で、掃除や片付けなどどんな些細なことでも構わないこと、報告数や内容を個人の査定には紐づけないことを徹底しました。はじめは反応も僅かでしたが10年続けた結果、社内でも定着。約1,300件以上の気づきによる改善で社内の雰囲気や環境は大きく変わりました。

集団があれば少数の秀でた人、もしくは落第がちな人に目を奪われがちですが、大多数は普通と呼ばれてしまう人。私はこの静かな多数派を自己表現が苦手な人と考えています。その大多数に目を向けることで、彼らが結果を気にせず自分の気づきを行動に移せる人になって欲しいと思ったのです。失敗前提でいいからトライアルを増やす。CS・ES事例集を続けることでそれが社内全体に浸透してきたと感じています。

**二兎追うものは二兎を得る
やじろべい経営を伝授**

次世代のUDトラックス道東を見据えた改善も進めています。会社経営で大事なことは、「社風や文化」と「売上・利益」です。社風や文化をよくしようと力を注ぐと売上・利益の意識が落ちてしまいます。一方で、売上・利益ばかりに気を取られてしまうと社内環境=社風が悪くなりがちなんです。これを「やじろべい経営」として、将来の幹部候補には、できるだけ揺れが小さくなるようなバランスのよい経営を説いてきました。つまりは、「二兎追うものは二兎を得る」の考えです。

他にも、これからは見据えて、若い社員のためには、長く安心して働ける環境作りに力を注いでいます。まずは「福利厚生」の改善に着手しました。業界的に男性社員が多いのですが男性は家庭で福利厚生の話をする人は少ないんです。ですが、福利厚生は社員とその家族にとっては重要なものです。そこで、わかりやすい「福利厚生ポケットブック」を制作。その中には、ケガや病気に見舞われたり、自分や家族に介護が必要な際の介護給与補償の保険もあり、社員のみならず本気で家族を守る会社を目指しています。



▲ 未来の人材について「何度も失敗しても大丈夫! 明るく努力を続けられれば、ふわふわな土壌(心)ができていきます」とエールを送る金尾社長。多くの講演依頼を引き受けるのも物流の社会的責任を多くの人に知ってもらいたいから

